

令和 7 年 2 月 4 日
リサイクル燃料貯蔵株式会社

リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

1. 使用済燃料受入れ量及び累計在庫量

項目 時期	燃料体 の種類	受入れ量			累計在庫量		
		キャスク 基数	燃料 体数	ウランの量※	キャスク 基数	燃料 体数	ウランの量※
令和6年 10 月～ 令和6年 12 月末 までの実績	PWR	0 基	0 体	0 トン U	0 基	0 体	0 トン U
	BWR	0 基	0 体	0 トン U	1 基	69 体	約 12 トン U
合計	PWR	0 基	0 体	0 トン U	0 基	0 体	0 トン U
	BWR	0 基	0 体	0 トン U	1 基	69 体	約 12 トン U

※ ウランの量は、端数処理(四捨五入)を実施しているため、累計が一致しない場合がある。

2. 事業開始について

令和6年9月 26 日に東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所から輸送された金属キャスク1基をリサイクル燃料備蓄センター(貯蔵建屋)に搬入しました。その後、最終の使用前事業者検査を実施し、同年 11 月6日に原子力規制委員会から使用前確認証の交付を受け、事業開始となりました。

3. 許認可・届出関係

(1)設計及び工事の計画の認可

新たな金属キャスクを追加した事業変更許可申請書を令和5年9月 21 日に原子力規制委員会に提出し、令和6年2月 21 日に許可をいただきました。その後、同年 10 月7日に原子力規制委員会に設計及び工事の計画の認可申請書を提出し、同年 12 月 23 日に認可をいただきました。

【今回追加した金属キャスクの種類】

- ・BWR 用中型キャスク(タイプ 2) 52 体(使用済燃料集合体数)
- ・PWR 用キャスク(タイプ 1) 21 体(使用済燃料集合体数)

【許認可済の金属キャスクの種類】

- ・BWR 用大型キャスク(タイプ 2A) 69 体(使用済燃料集合体数)

(2)保安規定

保安規定の変更認可申請書を令和7年1月 15 日に原子力規制委員会に提出しました。

【変更箇所の概要】

- ・組織改編に伴う変更について
- ・貯蔵する金属キャスクの種類追加に伴う運用の追加について
- ・教育訓練に係る記載の適正化について

(3) 事業変更許可申請書の工事計画

事業変更許可申請書の工事計画の変更を令和7年 1 月 31 日に原子力規制委員会に届出しました。

【届出内容】

「五、使用済燃料貯蔵施設の工事計画」

日本原子力発電株式会社から示された使用済燃料搬入計画を踏まえ、金属キャスクの使用開始を 2026 年度から 2027 年度に変更

(4) 使用済燃料貯蔵施設の貯蔵計画

東京電力ホールディングス株式会社及び日本原子力発電株式会社から示された使用済燃料搬入計画を踏まえ、使用済燃料貯蔵施設の貯蔵計画を令和7年1月 31 日に原子力規制委員会に届出しました。

【届出内容】

年度	キャスク基数
令和7年度(下期)	2基
令和8年度(上期)	3基
(下期)	2基
令和9年度(上期)	1基
(下期)	6基

以 上

詳細については、当社ホームページから確認することができます。[\(https://www.rfsc.co.jp/ssl/\)](https://www.rfsc.co.jp/ssl/)